

審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名称	茅野市博物館協議会		
開催日時	平成30年3月28日（水） 午後1時30分～3時31分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 閲覧室		
出席者	沖野外輝夫委員長、小口隆秀副委員長、市川純章委員、武居三男委員、 根橋良紀委員、小平一次委員、大勝弘子委員、西本綾子委員 山田利幸教育長、守矢昌文文化財課長兼尖石縄文考古館長、若宮崇令八ヶ岳総合博物館長、田村健神長官守矢史料館長、小池岳史考古館係長、両角英彦博物館係長、柳川英司古文書担当、渡辺真由子博物館係主査		
欠席者	笠井正啓委員、伊藤彰敏委員、小野崎千恵子委員 平出信次生涯学習部長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
山田利幸教育長	<p>○ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長あいさつ 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 審議会等の会議の公開について (2) 各館 平成29年度事業報告について (3) 第5次茅野市総合計画に伴う各館の計画について（茅野市社会教育推進計画）（報告） 4 閉会 <p>○ 会議録</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会（両角博物館係長） 2 教育長あいさつ <p>今年度は、縄文ライフフェスティバルの関係で、考古館、史料館、多くの来館者があった。</p> <p>その中で、尖石縄文考古館は、縄文学の総本山というような位置付けが大分、出来上がってきたように思う。参加体験というようなこともできたと思う。</p> <p>八ヶ岳総合博物館は、諏訪東京理科大学が公立化するので、連携が大切になってくる。</p> <p>神長官守矢史料館は、注目が寄せられている。来館者が、館長の説明を食い入るように聞いていた。</p> <p>今日は、各館の事業報告と第5次総合計画に伴う各館の計画について説明するので、ご意見をお願いしたい。</p> 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 審議会等の会議の公開について （両角博物館係長が説明） 		

	<p>昨年6月の協議会の際に、今任期中は、会議及び会議録は公開とし、発言者の氏名も公開することに決まっていることを説明し、本日の会議も同様にすることが確認された。</p>
<p>沖野委員長</p>	<p>(2) 各館 平成29年度事業報告について</p> <p>各館 平成29年度の事業報告について説明してください。 最初に、尖石縄文考古館、お願いします。</p> <p>(守矢尖石縄文考古館長が説明)</p>
<p>沖野委員長</p>	<p>質問、意見があれば、お願いします。</p>
<p>市川委員</p>	<p>縄文検定を実施したとなっているが、人数の目標があるといいと思う。例えば、茅野市民の何パーセントが取得したとか。現在は、どんな状況か。</p>
<p>守矢尖石縄文考古館長</p>	<p>初級に受かった後に中級、その後に上級となるので、なかなかパーセントが上がっていかないのが実際のところである。</p> <p>初級は、小学校4年生以上の方は、どなたでも受けることができる。館においていただいた方や、青少年自然の森を使った市内の小中学生がカリキュラムの中で受けているので、かなりの数字になる。</p> <p>市民の何パーセントということは設定していないので、課題として検討したい。</p>
<p>市川委員</p>	<p>グローバルの時代と言われるが、英語を話せるだけでグローバルとは言えない。自分の育った土地のことを話題にできることは魅力的である。茅野市でいえば、縄文のことや養川堰の歴史を知っていることはとてもいいと思う。</p> <p>例えば、市民の9割が縄文検定を取得している茅野市なんて誇りになったりすると思う。分かりやすい目安なので、何か目標を設定すると思う。</p> <p>理科大は、今後、地域が設置する大学になっていく。縄文検定を取得することは義務というくらいに働きかけるのもいいと思う。</p> <p>ある土地の文化を学ぶということは、他の地域にも同じように独自の歴史や文化が作られているということを理解できる人になると思う。</p> <p>理科大に関して言うと、学生はほぼ地域外。これからも8～9割が長野県外になっていくと思う。この地域のことを知る人を増やしていくことになるので、ぜひ大学に働きかけてほしい。</p>
<p>守矢尖石縄文考古館長</p>	<p>永続的な事業なので、市民の皆さんに地域を知っていただく機会にしていきたい。</p>

小平委員	<p>縄文サロンの開催で、ボランティア・サークル合同会議とあるが、この文言だけだとボランティアとサークルが何か話し合いをしているように読める。尖石サロンに参加してきた人たちの理解は、ボランティアやサークルに考古館の事業概要を説明いただき、それに対する参加や協力要請の場である。そして、参加者から考古館の行事に対する要望、意見具申をしてきたと捉えている。</p> <p>尖石サロンの性格について、もう1度、考古館とボランティア、サークルの代表者の認識合わせをしてほしいと思う。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>館事業の推進は、館に関係する市民の協力がないとできない。館は、市民の活動の場でもある。館としてはこれをお願いしたい、市民の方からはこれをしたというキャッチボールの場と考える。機会を増やしていきたい。</p>
沖野委員長	<p>住民が参加して計画をつくっていくことは大事。ぜひ発展させてほしい。</p>
小口副委員長	<p>縄文ライフフェスティバルを行い、盛り上がったとのこと。茅野市挙げて取り組んだいいイベントだと思う。どのくらい増えたか。</p> <p>また、第0回ということだが、次はいつになるか。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>縄文ライフフェスティバルは、市民館など市内各所で行われ、縄文に関わる事業に多くの方が参加した。</p> <p>今回は、第0回としたが、3年に1度のトリエンナーレ方式で行われる。第1回は、東京オリンピックが開催される2020年で、世界に縄文を発信する機会としては最適ではないかという考えで計画されている。</p>
沖野委員長	<p>第0回というのはいいこと。いろいろな計画を立てるときに、0がないと1にならない。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>試しでやってみて、第1回に向けて準備をしていこうということです。</p>
武居委員	<p>入場者数で無料入館者数は、市内の小中学生だと思う。5～6年生が歴史を勉強して、館に来て見学するということになるので、無料はありがたい。ぜひ続けてほしい。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>市内小中学生及び諏訪圏内の小中学生を無料としている。</p>
市川委員	<p>入館者数の表で、個人と団体の人数の記載があるが、こちらは有料の人数ということか。</p>

守矢尖石縄文考古館長	そうです。そこに、減免と無料が加わり、合計になる。
沖野委員長	3つの館の中で最も多い入館者だが、課題はどうか。
守矢尖石縄文考古館長	市内の方に利用いただける館を目指していかなければならないと考える。館を身近に感じていただくことが大事だと考える。
沖野委員長	来館者が増えると、職員は大変になると思うが、どうか。
守矢尖石縄文考古館長	市民力、縄文が好きな方の協力をどう活かすかということになる。
沖野委員長	次に、八ヶ岳総合博物館、お願いします。 (若宮八ヶ岳総合博物館長が説明)
沖野委員長	質問は、ありますか。
武居委員	来館者を増やすために様々な努力をしていることが分かる。 モバイルプラネタリウムは小さいが、中で説明を聞き感動した。タイムリーな出来事には参加者が多い。ぜひ広めて行ってほしい。 博物館は小学校とつながりを持っていると思う。プラネタリウムは、出張してやっている。とてもいいことだと思う。 さらには、大学生とのつながりが持てれば入館者が増えると思う。
若宮八ヶ岳総合博物館長	その件は、市川先生が企画していただき、当館のプラネタリウムと大学の授業とをコラボしている。
市川委員	学内に体制が整っているわけではないが、例えば、博物館の市民研究員などの科学行事の運営に学生が関われば、学生にとってよい勉強になると思う。自分が分かればいいだけでなく、人に分かるように伝えることが重要だという勉強になると考える。 学生が関わらせていただいた事例として、本学の総合演習の授業で、この3年間、博物館の活用を考えるということを教材にしてきた。一昨年は、二十年以上、博物館の展示が変化しないので見直すという話があり、だがお金がないので、アイデアで何とかできないかということを目にしたので、それを学生と一緒に考えさせてもらえないかと協力を持ちかけた。 学生は博物館を利用したことがないので、まずは博物館を見学した。2年目は、ホームページを直そうということをやった。今年度は、博物館に整備されているモバイルプラネタリウムの利活用を考えた。 学生にとって、講義の勉強だけでなく、地域に出た自発的な学習も大切であると考えているので、何か協力できそうな題材があれば大学に連携

<p>沖野委員長</p>	<p>を呼びかけてください。</p> <p>公立化するわけなので、博物館をどうカリキュラムに組み込むかという検討をしていただけるとよい。</p>
<p>市川委員</p>	<p>学生との連携には、2つの関わり方があると思う。ひとつは、博物館を学生に知ってもらうこと、もうひとつは、学生に運営を協力してもらうこと。どちらも学生の教育にとってプラスと考えるので、連携をお願いしたい。</p>
<p>小口副委員長</p>	<p>総合博物館は、文芸、民俗、科学という分野があると思う。科学分野が大分盛んで、科学だったらいろいろなことで連携もしやすいと思う。</p> <p>3月に、高校生の科学発表の会が信州大学であって、そこに行ったら、信大の理学部の学生が博物館で研修をしたということが発表されていた。市民研究員という制度があってすばらしいという発表がされていた。</p> <p>こういうことから、博物館同士が連携できれば、発展があると思う。</p>
<p>沖野委員長</p>	<p>館長、ご意見ありますか。</p>
<p>若宮八ヶ岳総合博物館長</p>	<p>小さい博物館なので、マンパワーは限られる。できるだけ、市民研究員や大学の力も借り、高めていければと考える。</p> <p>東海大諏訪高校にも協力していただいている。企業との連携を模索できたらと考えている。</p>
<p>沖野委員長</p>	<p>次に、神長官守矢史料館、お願いします。</p> <p>(田村神長官守矢史料館長が説明)</p>
<p>根橋委員</p>	<p>参加人員は、地元の人が多いのか、県外の人が多いのか。</p>
<p>田村神長官守矢史料館長</p>	<p>館には芳名帳がある。平成29年の集計では、記入者は979人。関東方面が5割、北信越が2割、東海が15%。</p> <p>北信越は長野県が一番多く、半分以上は南信。南信のうち茅野市が一番多い。</p>
<p>根橋委員</p>	<p>古文書は、歴史の流れ・実態を表している。縄文時代と古文書に残されている時代との空間のことがよく分からない。そこが分かるものがあればと思っている。</p> <p>県外の方が、そういうことに興味をもって来ているのか。縄文とは関係なく来ているのか。</p>
<p>田村神長官守矢史料館長</p>	<p>縄文に関心がある方も多く来る。館の建物は、藤森建築の原点。縄文ということを考えてああいう建物にした。なぜ縄文かというと、御頭祭の展示をしてある。縄文時代から行われてきた祭が今日まで諏訪大社に伝わ</p>

	っている。
沖野委員長	特殊な館である。
田村神長官守矢史料館長	日本の中で一番古い精神文化を宿している。守矢文化、諏訪信仰の原点。
沖野委員長	ほかに、いかがですか。
西本委員	はたおりボランティアとして、元旦博物館まつりと3月のイベントデーのときコースターを1人、5枚ずつ織って博物館に渡している。喜ばれていて、張り合いになっている。
沖野委員長	ロビーに機織機が置いてあるだけで興味をもつが、動かしている人がいるとずいぶん違うと感じている。博物館の役に立っているという自負でやっていただきたい。
沖野委員長	若宮館長、ほかにありますか。
若宮八ヶ岳総合博物館長	機織機を置いてある展示だけでは面白くないわけです。それを実際に動かして織っているところを来た人に見せてくれることはありがたい。 質問にも丁寧に答えてもらえるし、機織り体験指導もしていただいている。
沖野委員長	よろしいでしょうか。 それでは、3館の平成29年度の事業報告は、以上とします。
沖野委員長	(3) 第5次茅野市総合計画に伴う各館の計画について(社会教育推進計画)(報告)
沖野委員長	次に、第5次茅野市総合計画に伴う各館の計画についてをお願いします。 (最初に、第5次茅野市総合計画について、両角博物館係長が説明。 続いて、各館から計画について説明)
沖野委員長	説明ありがとうございました。 3館それぞれに特徴があるので、社会教育の中で連携してやっていくということと、今日、報告いただいた活動方針の延長線でいくということになると思います。 質問は、ありますか。
小平委員	考古館は、特別史跡があり、国宝が2つあるということで、すごいことだと思うので、それにふさわしいことを期待している。

	<p>課題としては、収蔵品が増えてきたから再整理をしなければならないということ、将来像は、もっと来館者を増やしたい、参加・体験型の施設にしたいということだと思います。</p> <p>そういうことを考えると、現在の施設が老朽化や狭いと考えたとリニューアルの考えは、この計画の中に入らないのか。</p> <p>来る方にとって場所が分かるということが大事。考古館の近くに来て、一番目にするのが三井の森の看板。近くまで来ていながら、考古館はどこかと言う人が結構いる。考古館の駐車場の標識はあるが、木の中に紛れて分からないようだ。ここが考古館だという大きなモニュメントがあれば、分かりやすくなると思う。考古館という矢印を立ててほしい。</p> <p>考古館のパンフレットは地域に配れないものか。旅館などに置いていただければいいと思う。</p> <p>縄文教室事業や特別展を通じ、遺跡の大切さが分かる機会を充実させていくということが書かれている。遺跡の理解に焦点が当たるということは深い意味があるように思う。説明してほしい。</p> <p>考古館をリニューアルしてほしいという背景には、人気講座があつて募集人員は満杯になる。さらにこれを拡大していくということになれば、人材の増強なり、ボランティアを増やすということになると思う。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>施設の充実・拡充については、市では、今後の人口減少・少子化の中で公共施設をいかにするかという検討をしている。その中で、考えていくことになる。</p> <p>場所の表記については、景観との兼ね合いを考えながらということになる。</p> <p>人材の件は、今後の事業を展開することによる人材育成と、それに対する底支えが大事であると総論を述べている。</p>
沖野委員長	パンフレットの件は。
守矢尖石縄文考古館長	観光業者などの要望があれば、届けている。
沖野委員長	考古館は入口の所が分かりにくいかもしれない。
守矢尖石縄文考古館長	景観条例では、エコラインから上は看板が立てられない。
沖野委員長	理科大が公立化するいい機会なので、市は、各課共通で協議していつてもらいたい。
市川委員	縄文のことなどは、茅野市にある大学だからこそ学べるという特徴になると思う。
沖野委員長	全体を通じて、何かありますか。

市川委員	<p>茅野市にはここで生まれ育っていない人も結構住んでいるので、そういう人が土地の歴史を学べる機会は大切だと思う。博物館の常設展示がそれを担っていると思う。</p> <p>八ヶ岳総合博物館では地域の自然歴史文化を全般的に学べ、考古館は縄文に特化して詳しく学べる。さらに、神長官守矢史料館は、もっと特化したテーマを学べるという役割分担になると思う。</p> <p>しかし、神長官守矢史料館とは何なのか、歴史の中での位置付けについて、対外的に説明が不足していると思う。</p> <p>諏訪大社、諏訪信仰などのキーワードは少し知られている気がするが、もっと学べる内容をアピールした方がよいと思う。</p>
沖野委員長	<p>ほかに質問などは、ありませんか。</p> <p>なければ、協議事項は、終わりとします。</p> <p>4 閉会（両角博物館係長）</p>